

◇令和5年度能勢町一般会計補正予算(第6号)(予算常任委員会に付託)

補正額 1億4,189万円

(主なもの) 電力等価格高騰緊急支援給付金
物価高騰対策商品券交付金

1億500万円
2,760万円

□その他□

◇能勢町立小規模多機能型居宅介護事業所指定管理者の指定について

株式会社 さわやか豊能訪問看護ステーション (令和6年4月1日から5年間)

◇能勢町けやき資料館指定管理者の指定について

NPO法人 大きな樹 (令和6年4月1日から5年間)

□議会議案□

◇能勢町議会委員会条例の一部を改正する条例について

予算常任委員会報告

12月14日 開催

委員長 森田 則子

予算常任委員会に付託された「令和5年度能勢町一般会計補正予算(第5号)(第6号)」について、委員会を開催し予算内容を審議しました。採決の結果、全員賛成で可決すべきものと決定しました。主な質疑応答は、次のとおりです。

問 公共施設再編整備事業の旧庁舎解体工事と、旧久佐々小学校の体育館の劣化診断について問う。

答 設計費の可決後、令和6年度の早い段階で入札し、同年度中に解体終了予定。劣化診断については、生涯学習施設を移動する際の実施設計時に進める。

問 庁舎の解体費に2億3000万円が、債務負担行為で組まれている。財源的内訳の見込みを問う。

答 解体工事費は、過疎対策事業債を100%充当する見込みで、後年度交付税で70%が返ってくる。

問 ふるさと応援寄附金について、新しい取組みと、今回の増額の要因を問う。

答 PRチラシを作成し、各事業所への配架をお願いしている。新たに令和5年9月からポータルサイト「JRE MALL」を加えて対応している状況である。増額の要因は、このポータルサイトや、昨年11月から新たに参入した事業者の影響が大きいと考える。今後ともPRチラシを利用し、事業者を増やしていきたい。

問 企業からの一般寄附金の経緯と、使用の考えを問う。

答 今回の一般寄附金は、一企業から特にCSR(企業の社会的責任)の取組みとして、環境保全の利活用に200万円の寄付をいただいた。本年度は環境基金に積立て、令和6年度に事業実施予定。町内で取り組んでいる三草山、地黄湿地等の環境保全に活用していく。

問 し尿処理施設の運転管理業務の契約期間が、債務負担行為で、令和5年度から15年の長期に渡るが、その理由を問う。

答 今回の、し尿処理施設改造工事の運転管理業務の発注方法として、公設民営型のDBO方式で行うことに決定した。
DBO方式では、全てを包括委託し、長期の15年から20年で発注するのが主流であること、また、運転管理施設の機械的なところは、法的な耐用年数が、おおむね15年となっていることも採用の要因となっている。

問 契約期間15年で、事業効果が5億円との試算の説明と、債務負担行為で長期契約すれば、途中で契約の見直しができないと危惧するが、見直しについて問う。

答 運転管理と合わせて機械の工事も行うなど、業者と調整して協議し決定して行くが、今の設定の水準での比較となり、その効果が5億5000万円になる。契約は、薬品費など、今後人口減少等で使用量が減る場合などに、変動できる契約にしたいと考えている。

問 物価高騰対策商品券交付金のいきいき商品券の発行について問う。

答 商品券PART5として一人3000円を、令和6年3月1日から6月末までの利用期間で発行する。登録事業所の換金期間は、3月1日から7月末までの予定である。事業所の利用拡大を図るため、登録事業所の周知に努める。